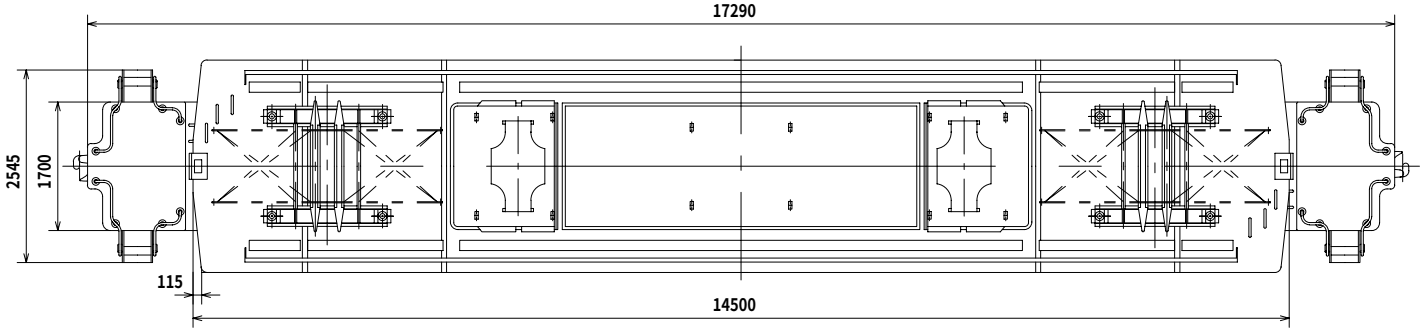
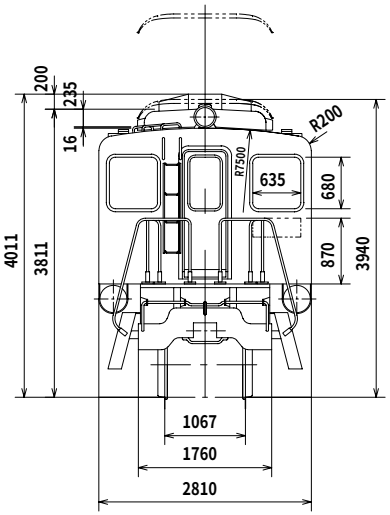
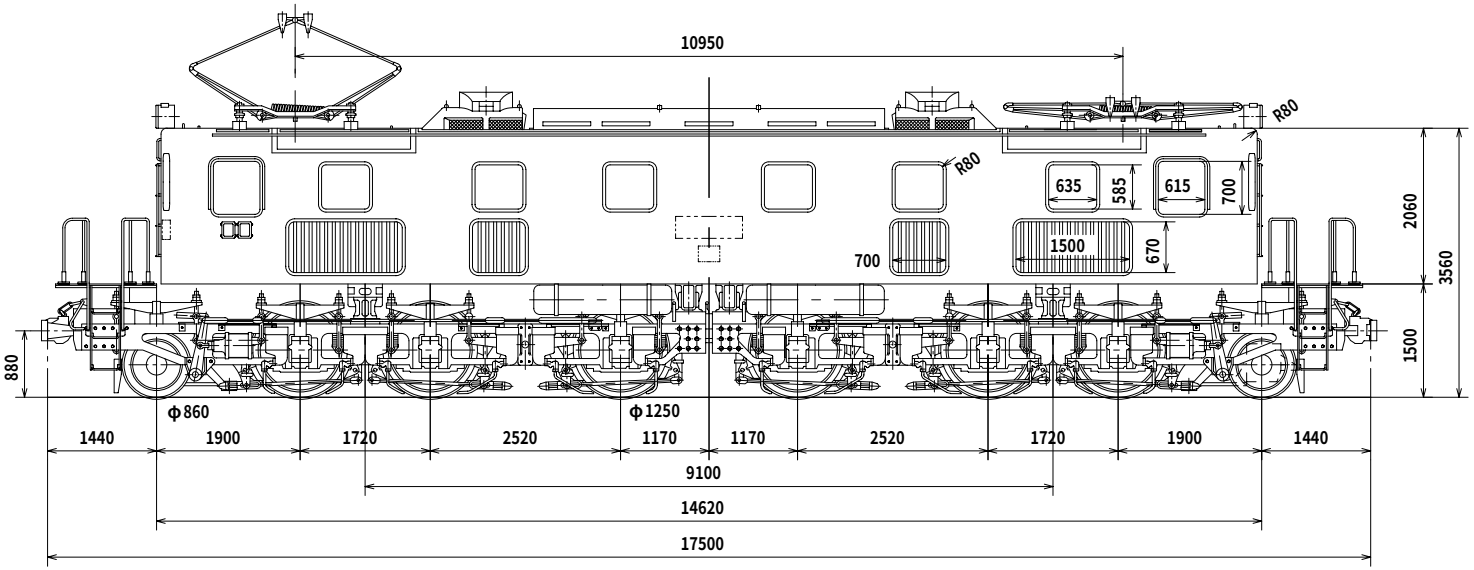
国鉄　EF10形電気機関車　形式図

1941年、42年に製造されたEF10のラストグループNºEF1034～41。
戦前の国鉄電機の中で、最も洗練されたスタイルの一つに入るロコといえる
EF10は1934年以来さまざまなスタイルが製造・増備
中には当時では珍しい鋳鋼台枠採用機、関門トンネル用ステンレス車体に改造したものもある
かなりバラエティー豊かな形式となっている
図示のEF10は屋上に大きなガーランドベンチレータを付けて、その点EF12に似ているが、それ以外はNºEF1025～29と同型